

生命保険加入と見直しのポイント！

ファイナンシャル・プランナー 伊藤 亮太

- ・病気やケガで不安・・・生命保険に入った方がいいのではないかな？
- ・保険料が家計の負担になっている・・・生命保険を解約すべきだろうか？

上記のようなお悩みで、生命保険に関して加入を考えたり、見直しをしたいと思われる方は多いのではないだろうか？今回はこの「生命保険加入と見直し」におけるポイントについてみていきたいと思う。

■生命保険の加入にあたって

生命保険加入にあたって、当たり前なことではあるが、保険に加入する目的が何のためであるのかが明確でなければならない。例えば、ケガや病気になった時に入院費用に困らないようにするためといったことであったり、家族が生活していくのに困らない程度の死亡保険金を用意したいといった希望がその目的に値する。保険に加入する前に、一度そうした目的を書きだしてみるとよいであろう。そうすると、どういった保険に加入した方がよいのか、もしかしたらそもそも保険に加入するのではなく貯蓄を増やす方がよいといった結論がみえてくると思われる。

生命保険加入を考えるにあたっては、まずは目的を明確にしてみよう。そのうえで、私たちのような中立的な立場のFPに相談すると、加入すべき保険の種類や商品がより明確になるといえる。もちろん、保険会社や保険代理店などに相談するのもよい。ご自身が納得して保険に加入する場合は別ではあるが、くれぐれも勧められるままに保険に加入という形だけは避け、じっくり保険商品を比較する時間もできれば欲しいところである。

■生命保険の見直しのポイント

生命保険の見直しのポイントは3つ。①保険に加入した目的が現在も継続して合致した目的となっているか、②保険料に負担感はないか、③保険金額が適切か、の3点である。

①保険に加入した目的が現在も継続して合致した目的となっているか？

生命保険に加入しているものの、どんな保険商品に加入しているのかイマイチ分かっていない・・・そういう方も多いのではないだろうか。加入した目的もはっきりしておらず、とりあえず入っているという方、是非一度見直し機会をつくることをおすすめしたい。仮にムダな保険に加入していることが判明すれば、月に数千円～数万円の節約にもなるかもしれない。その分を貯蓄に回すことができたとしたら、家計にとってはかなり助かるとい

えるのではないだろうか。

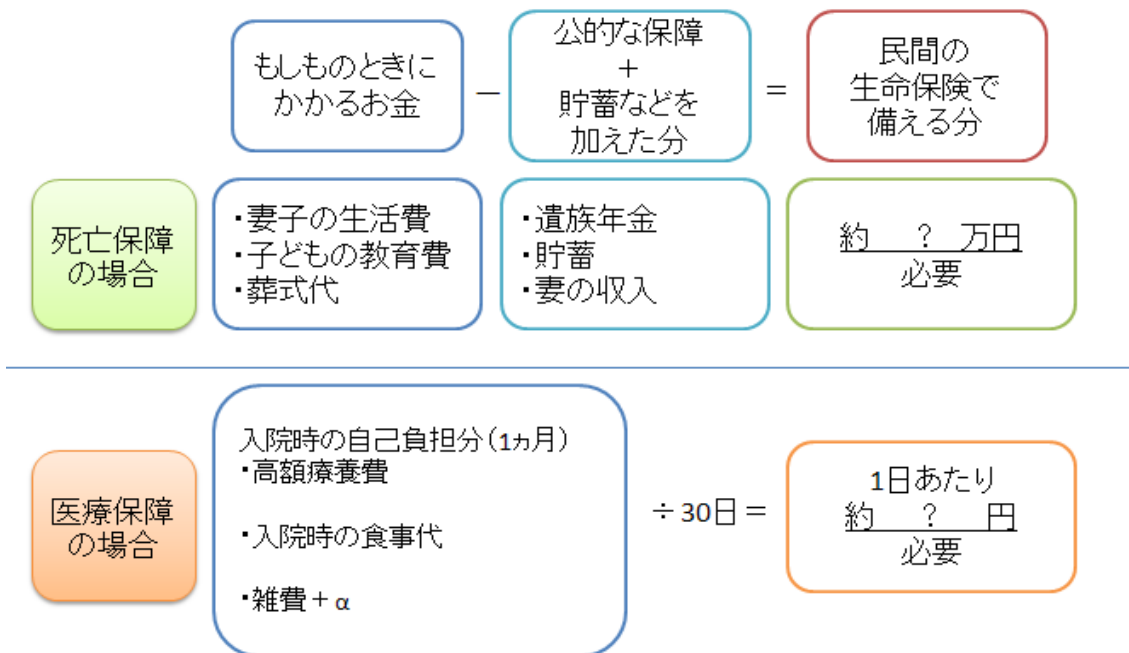
なお、最初に加入した時から保険加入の目的に変更がない方については、次に示す保険料と保険金額についても考えていただきたい。

②保険料に負担感はないか？

保険料が家計を圧迫している・・・そんな現状のあなた。今すぐにも保険の見直しを行うべきといえる。通常、保険料に負担感がある場合には、必要以上の保険に加入しているパターンが多い。特に、特約部分にどんなものを付加したのか、保険証券をみてチェックしていただきたい。

③保険金額が適切かどうか？

保険金額は多ければ多いほどよいと思って保険に加入されている方もいらっしゃるのではないだろうか。しかしながら、保険金額が多ければ必然的に保険料も高くなるといえる。下記の算式にて計算された金額が実際に民間の保険でカバーする金額となるため、保険金額の一つの目安として参考にされたい。



生命保険は、必ずしも無理をしてまで加入しなければいけないものではない。その方の方に合った保険の入り方があると私は考える。保険料に負担を感じる方は是非一度見直しを行っていただきたい。保障額を少なくする、延長保険や払済保険で対応する、他の保険に切り替えるなど見直し方法には様々なパターンが存在するため、保険分野に強いFPに相談されるとよいであろう。